

# 大阪解除 病床不安なお

3/11 朝日

## まん延防止 年度末の再拡大警戒

イルズ対応の「まん延防止等重点措置」。飲食店への時短要請などが解除される」となるが、人の移動や接觸が増える年度末を控え、各府県は感染の再拡大に神経をとがらせている。

21日で全面解除される見通しとなりた新型コロナウイルス対応の「まん延防止等重点措置」。飲食店への時短要請などが解除される」となるが、人の移動や接觸が増える年度末を控え、各府県は感染の再拡大に神経をとがらせている。

「新規陽性者は減少傾向にあり、病床の逼迫も低下する見込みがある。重点措置の延長は求めない」

大阪府の吉村洋文知事は16午後、府の対策本部会議でこう表明した。重点措置が解除されれば国が定める基本的対処方針に基づき、飲食店への時短要請や酒類の提供自粛を実行しない者を示した。

府のまとめでは、府内の感染者数は15日までの1週間で3万6283人。第6波のピークだった2月28日と比べると割近く減った。病床会津の使用率は57・7%（15日公表時点）と依然と部を超えているものの、減少傾向である。

▼1面参照

感染再拡大を警戒する。14日時点の病床使用率が50%だった兵庫県、荒木一郎副知事は飲食店などへの時短要請をなくす方向で検討しているところ、「3月末から4月は人が移動する時期。リバウンドを起こさたくない。県民にお願いすべく」とがないか検討したい」と述べた。

香川県の浜田恵造知事も「年度末で人の移動が多くなる。感染状況に応じて必要な対策を講じたい」と説明。石川県の谷本正彦知事は「医療提供体制に支障がない」と不安を口にする。吉村知事は対策本部会議後、府幹部は「感染再拡大勢にいたわった。幹部の人たちは「ここから感染再拡大に転じた場合は病床に余力がない。非常にリスクが高い」と不安を口にする。吉村知事団に「人の移動が活発になりやすい時期で、変異株もある。再拡大のリスクについて最も悩んだ」と明かした。

各府県は政府への注文も相次いだ。

**■新型コロナウイルス感染者(3月16日午後8時現在)**

国内の確認592万2088人(+5万7922)		死者2万8629人(+163)		
感染者	死者	感染者	死者	
199223 (+1933)	1883	京都市	143182 (+1320)	561
28951 (+522)	78	大阪府	742947 (+5739)	4886
14929 (+342)	67	兵庫県	307081 (+2985)	2018
50383 (+729)	165	島根県	675866 (+777)	324
12928 (+227)	43	和歌山县	25948 (+125)	107
15064 (+218)	76	奈良県	8180 (+107)	11
30193 (+430)	189	三重県	7984 (+108)	9
95144 (+1261)	350	静岡県	56999 (+594)	219
54406 (+655)	227	愛知県	85218 (+952)	431
61570 (+721)	274	岐阜県	25720 (+344)	156
376590 (+3933)	1276	福井県	14373 (+198)	78
320602 (+3260)	1550	滋賀県	24928 (+463)	95
1145251 (+10221)	3999	京都府	21310 (+271)	125
542950 (+4510)	1918	奈良県	15000 (+201)	98
35683 (+517)	85	和歌山县	273040 (+2474)	1070
24303 (+457)	71	三重県	28308 (+328)	74
30856 (+406)	179	静岡県	31026 (+242)	114
18614 (+293)	41	愛知県	58589 (+632)	261
20351 (+244)	61	岐阜県	28277 (+212)	122
36975 (+542)	158	福井県	22096 (+278)	113
61198 (+499)	301	滋賀県	37021 (+365)	152
108235 (+1364)	370	京都府	110973 (+827)	433
378889 (+3761)	1888	奈良県		
49246 (+562)	261	和歌山县		
61042 (+838)	176	三重県		

その他(空港検査など)  
1万2726人(+90) 死者8人

「重点措置を廃止しない場合の有効性のある感染対策についても示してほしい」と要望。大阪府の吉村知事は「重点措置を再適用する場合の基準を政府が設定するべきだと示してほしい」と述べたとの考え方を示した。

「一方」ではない人も、特機4、5日目にそれぞれ検査キットで陰性を確認すれば、5日目に解除できる。また、検査体制の強化も打ち出した。感染再拡大や経済活動の再開をにらみ、これまでの考え方を示した。

（後編）

## 首相「日常生活を取り戻す」

「緊急事態宣言の解除後も飲食店への時短要請を続けていたが、春休みに入り、飲食店への時短要請やコロナといつた場面も増える年度末に感染が

新型コロナ対策のまん延防止等重点措置が18都道府県すべてで解除される見通しだけで解除了。感染拡大が早いオミクロン株が生じ、企業に職場での調査は求めないととした。保健所や学校での調査については自治体が判断する。濃厚接触者になったとしても待機期間を短縮する。経済活動の再開をにらみ、新たな「エッセンシャルワ

し、企業に職場での調査は求めないととした。保健所や学校での調査については自治体が判断する。

濃厚接触者になったとしても待機期間を短縮する。経済活動の再開をにらみ、新たな「エッセンシャルワ

万回分の抗原検査キットを確保するという。これまでも50万回分を確保してきたが、さらに300万回分を確保する。治療薬も増やす。

（後編）

■ワクチン接種(16日、政府の発表から)

	1回目	2回目	3回目
総接種数(接種率)	1億201万1847 (80.5%)	1億45万6182 (79.3%)	4045万9934 (31.9%)

感染再拡大を警戒する。14日時点の病床使用率が50%だった兵庫県、荒木一郎副知事は飲食店などの時短要請をなくす方向で検討しているところ、「3月末から4月は人が移動する時期。リバウンドを起こさないようにお願いすべき」とがないか検討したい」と述べた。

香川県の浜田恵造知事も「年度末で人の移動が多くなる。感染状況に応じて必要な対策を講じたい」と説明。石川県の谷本正彦知事は「医療提供体制に支障がない」と不安を口にする。吉村知事団に「人の移動が活発になりやすい時期で、変異株もある。再拡大のリスクについて最も悩んだ」と明かした。

各府県は政府への注文も相次いだ。

■新型コロナウイルス感染者(3月16日午後8時現在)

国内の確認592万2088人(+5万7922)		死者2万8629人(+163)		
感染者	死者	感染者	死者	
199223 (+1933)	1883	京都市	143182 (+1320)	561
28951 (+522)	78	大阪府	742947 (+5739)	4886
14929 (+342)	67	兵庫県	307081 (+2985)	2018
50383 (+729)	165	島根県	675866 (+777)	324
12928 (+227)	43	和歌山县	25948 (+125)	107
15064 (+218)	76	奈良県	8180 (+107)	11
30193 (+430)	189	三重県	7984 (+108)	9
95144 (+1261)	350	静岡県	56999 (+594)	219
54406 (+655)	227	愛知県	85218 (+952)	431
61570 (+721)	274	岐阜県	25720 (+344)	156
376590 (+3933)	1276	福井県	14373 (+198)	78
320602 (+3260)	1550	滋賀県	24928 (+463)	95
1145251 (+10221)	3999	京都府	21310 (+271)	125
542950 (+4510)	1918	奈良県	15000 (+201)	98
35683 (+517)	85	和歌山县	273040 (+2474)	1070
24303 (+457)	71	三重県	28308 (+328)	74
30856 (+406)	179	静岡県	31026 (+242)	114
18614 (+293)	41	愛知県	58589 (+632)	261
20351 (+244)	61	岐阜県	28277 (+212)	122
36975 (+542)	158	福井県	22096 (+278)	113
61198 (+499)	301	滋賀県	37021 (+365)	152
108235 (+1364)	370	京都府	110973 (+827)	433
378889 (+3761)	1888	奈良県		
49246 (+562)	261	和歌山县		
61042 (+838)	176	三重県		

その他(空港検査など)  
1万2726人(+90) 死者8人